

苗木購入、暗渠・明渠施工工事等について支援します。

イチジク栽培に チャレンジしませんか。

市では、今年度からイチジクの栽培にチャレンジしてみたい、栽培規模を拡大したい方を対象に、苗木の購入や暗渠・明渠等の施工に対し支援をします。

問合先 農林水産課 ☎ 38 - 4303

【助成①】苗木購入費助成

対象者／販売を目的にイチジクを新植・改植する方

対象地／にかほ市内の土地

対象要件／①1箇所1a以上の面積に定植すること

②1a当たり概ね5本以上を定植すること

③田または畑に作付けする場合、排水対策(明渠)を実施すること

補助対象／苗木代(自家生産を除く)

補助率／苗木代の1/2

【助成②】排水対策助成

対象者／販売を目的にイチジクを栽培する方

対象地／にかほ市の田または畑

項目	対象要件および補助率
明渠施工	対象要件
	①額縁は必ず施工し、排水路へ確実につなげること
	②施工後、年度内にイチジクを定植すること
補助率	事業費(委託費)の1/2または、150円/mのいずれか低い額
暗渠施工	対象要件
	暗渠の間隔は10m以内
	補助率
モミガラ補助暗渠施工	対象要件
	①本暗渠が整備済みの農地
	②2.5m間隔であり、額縁も必ず施工すること
補助率	定額(1,900円/a)
移植時穴掘り整備	補助率
	事業費(委託費)の1/2(上限1,000円/a)

イチジク栽培の仕方



【開園】

◆栽培に適さない条件◆

①排水が悪い②酸性の土壌③風当たりが強い

イチジクの作付けには、水田跡や畑地跡を問いません。しかし、上記のようなほ場に定植をする場合は、深耕による心土破壊、暗渠や明渠の設置、堆肥等や石灰資材の散布による土壌改良、防風ネットの設置を実施します。

【栽植密度】

栽植距離は、3.5m×4m、10a当たり、70本植えを目安とします。

【時期】

定植時期は降雪前の秋植えでも、3月下旬から発芽前の春植えのどちらでも可能です。

【苗木】

にかほ市においては、耐寒性の強いホワイトゼノアが主力品種になっています。購入した苗木は、定植まで乾かないように管理します。なお、次年度以降は、枝を挿し木することで自家増殖できます。

【定植】

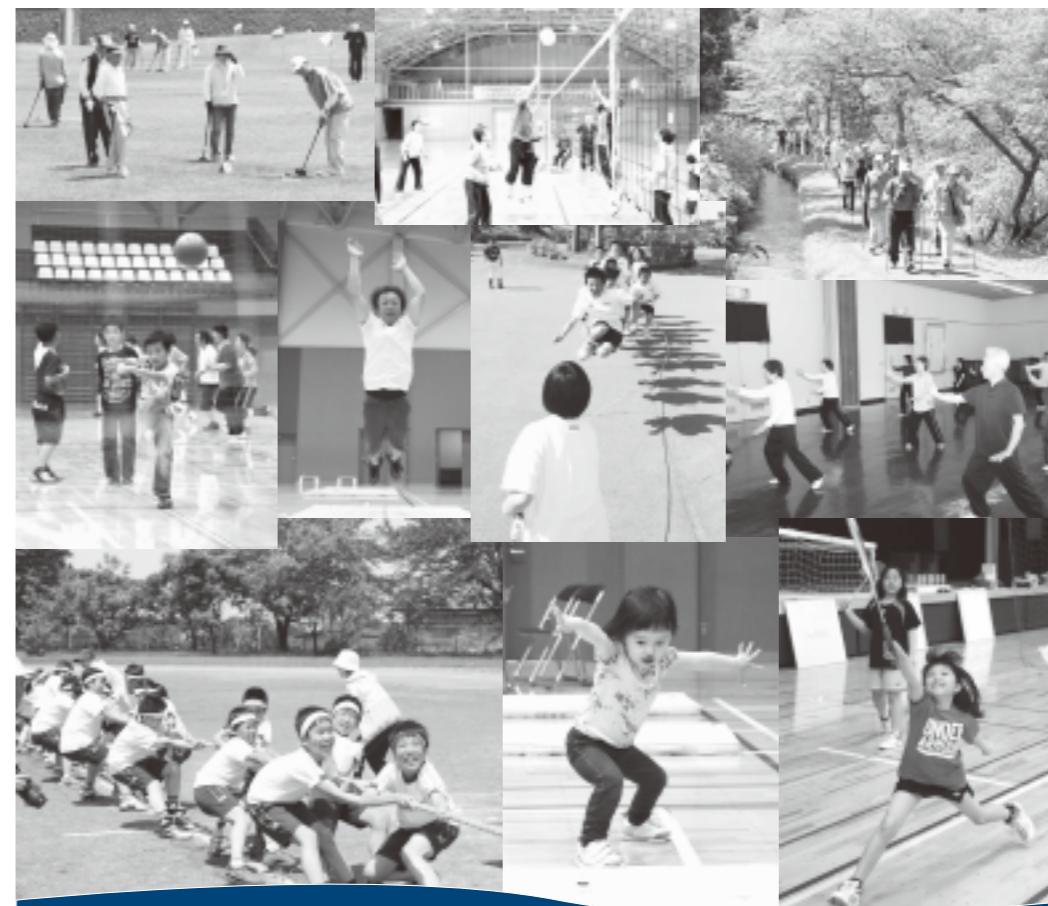
直径60cm、深さ30~40cm程度の植え穴を掘り、掘りあげた土に完熟堆肥10kg、ヨウリン1~2kgを混合します。

混合した土を適宜埋め戻し、苗木の根を四方に広げ、土をかぶせ浅めに植えます。

苗木は支柱にしっかりと結束し、定植後は根本にワラ等のマルチをして乾燥を防止します。※地下水位が高い園地、排水が思わしくない園地に作付けする場合は、植え穴を深く掘らず、高畦にして定植します。

【秋植え講習会】

秋植え栽培講習会を実施予定です。栽培を予定している方は農林水産課までご連絡ください。



WIN 参加者数 **11,051人**
参加率 **41.0%**

※人口は26,941人(平成25年2月1日現在)として計算

5月28日、チャレンジデー12014が市内全域で行われ、早朝から午後9時まで総勢1万1千人以上の方が参加しました。チャレンジデーは、毎年5月の最終水曜日に行われる住民参加型スポーツイベントで、世界各地で開催されており、秋田県内でも23市町村で実施されました。ルールは、人口規模の似ている自治体同士がイベント当日に15分以上継続して運動やスポーツを行った住民の参加率を競うものです。にかほ市では、象潟B&G海洋センターや各地域の体育館を無料で開放するなどの取り組みを行いました。また、象潟体育館には、プロサッカーチーム「ブラウブリッツ秋田」の選手たちも駆け付け、子どもたち

と一緒にバドミントンやPKシユートなどを楽しみました。市内の多くの場所および多くの団体がチャレンジデーにおいて活動した結果、にかほ市のチャレンジデー参加者数は11,051人で参加率が41.0%、対する鹿兒島県阿久根市の参加者数は、8,659人、参加率は38.4%となり、にかほ市が勝利を収めました。市民の皆さんの多くの参加にありがとうございます。

問合先 スポーツ振興課 ☎ 33・8855

チャレンジデー／にかほ市初勝利
多くのご参加、ありがとうございました！